

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成31年3月14日 (2019.3.14)

【公表番号】特表2018-510618(P2018-510618A)

【公表日】平成30年4月19日 (2018.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2018-015

【出願番号】特願2017-540563(P2017-540563)

【国際特許分類】

A 2 3 K 20/158 (2016.01)

C 1 1 C 3/00 (2006.01)

A 2 3 K 20/20 (2016.01)

A 2 3 K 40/30 (2016.01)

A 2 3 K 20/147 (2016.01)

A 2 3 K 10/30 (2016.01)

A 2 3 K 20/179 (2016.01)

A 2 3 K 20/174 (2016.01)

A 2 3 K 20/142 (2016.01)

A 2 3 K 20/132 (2016.01)

A 2 3 K 20/111 (2016.01)

A 2 3 K 20/22 (2016.01)

A 2 3 K 20/24 (2016.01)

A 2 3 K 20/105 (2016.01)

A 2 3 K 10/16 (2016.01)

A 2 3 K 10/18 (2016.01)

A 2 3 K 20/163 (2016.01)

A 2 3 K 20/195 (2016.01)

A 2 3 K 20/189 (2016.01)

A 2 3 K 20/26 (2016.01)

【 F I 】

A 2 3 K 20/158

C 1 1 C 3/00

A 2 3 K 20/20

A 2 3 K 40/30 A

A 2 3 K 20/147

A 2 3 K 10/30

A 2 3 K 20/179

A 2 3 K 20/174

A 2 3 K 20/142

A 2 3 K 20/132

A 2 3 K 20/111

A 2 3 K 20/22

A 2 3 K 20/24

A 2 3 K 20/105

A 2 3 K 10/16

A 2 3 K 10/18

A 2 3 K 20/163

A 2 3 K 20/195

A 2 3 K 20/189

A 2 3 K 20/26

## 【手続補正書】

【提出日】平成31年2月1日(2019.2.1)

## 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動物飼料のための脂肪酸組成物であって、

前記脂肪酸組成物が脂肪酸成分及び界面活性剤成分を含み、

前記脂肪酸成分が、少なくとも 50 質量%の遊離パルミチン酸を含み、

前記界面活性剤成分と前記脂肪酸成分との質量/質量比率が、約 1 : 100 ~ 約 1 : 1 であり、

前記脂肪酸組成物が 40 以上で融解し、

前記脂肪酸成分が 45 以下のヨウ素価を有し、

前記脂肪酸組成物が、プリル化された固体ビーズ又は固体フレークとして成形される、脂肪酸組成物。

【請求項 2】

前記固体ビーズが外部層及び内部コアを含み、前記外部層中の前記界面活性剤成分のパーセンテージが、前記内部コア中の前記界面活性剤成分のパーセンテージと実質的に同じであるか、前記内部コア中の前記界面活性剤成分のパーセンテージより高いか、又は前記内部コア中の前記界面活性剤成分のパーセンテージ未満である、請求項 1 に記載の脂肪酸組成物。

【請求項 3】

前記固体ビーズが外部層及び内部コアを含み、前記外部層中の前記脂肪酸成分が、前記内部コア中の前記脂肪酸成分と異なる、請求項 1 に記載の脂肪酸組成物。

【請求項 4】

前記脂肪酸組成物が、栄養剤又はキャリアをさらに含み、前記キャリアが多孔性キャリア材料を含む、請求項 1 に記載の脂肪酸組成物。

【請求項 5】

前記栄養剤が、抗酸化剤、生物活性剤、香味剤、着色剤、糖原性前駆体、ビタミン、ミネラル、アミノ酸、微量元素、又はそれらの誘導体を含む、請求項 4 に記載の脂肪酸組成物。

【請求項 6】

前記生物活性剤が、プレバイオティクス剤、プロバイオティクス剤、又は抗微生物剤を含む、請求項 5 に記載の脂肪酸組成物。

【請求項 7】

前記界面活性剤成分が、レシチン、大豆レシチン、セファリン、ヒマシ油エトキシレート、ソルビタンモノ - 、ジ - 、又はトリオレアート、ポリソルビタンモノ - 、ジ - 又はトリオレアート、タローエトキシレート、ラウリン酸、ポリエチレングリコール、カルシウムステアロイルジラクテート、グリセロールエステル、ポリグリセロールエステル、ソルビタンエステル、ポリソルビタンエステル、ポリエチレングリコールエステル、糖エステル、モノ - 、ジ - 、又はトリグリセリド、アセチル化モノグリセリド、乳酸化モノグリセリド、又はそれらの誘導体、ポリオキシエチレンステアレート、ポリソルベート、ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート、ポリオキシエチレンソルビタンモノオレアート、ポリオキシエチレンソルビタンモノパルミテート、ポリオキシエチレンソルビタンモノステアレート、ポリオキシエチレンソルビタントリステアレート、アンモニウムホスファチド、脂肪酸のナトリウム塩又はカリウム塩又はカルシウム塩、脂肪酸のマグネシウム塩、

脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリド、脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリドの酢酸エステル、脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリドの乳酸エステル、脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリドのクエン酸エステル、脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリドのモノアセチル酒石酸エステル及びジアセチル酒石酸エステル、脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリドの酢酸エステル、脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリドの酒石酸エステル、脂肪酸のスクロースエステル、スクログリセリド、脂肪酸のポリグリセロールエステル、ポリグリセロールポリリシノレエート、脂肪酸のプロパン - 1, 2 - ジオールエステル、脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリドと相互作用した熱酸化大豆油、ナトリウムステアロイル - 2 - ラクチラート、カルシウムステアロイル - 2 - ラクチラート、ソルビタンモノステアレート、ソルビタントリスステアレート、ソルビタンモノラウレート、ソルビタンモノオレアート、ソルビタンモノパルミテート、ポリソルベート 20、ポリソルベート 40、ポリソルベート 60、又はそれらの誘導体を含む、請求項 1 に記載の脂肪酸組成物。

【請求項 8】

前記脂肪酸のナトリウム塩又はカリウム塩又はカルシウム塩が、蒸留パーム脂肪酸のナトリウム塩又はカリウム塩又はカルシウム塩を含む、請求項 7 に記載の脂肪酸組成物。

【請求項 9】

前記界面活性剤成分が、オレイン酸由来の界面活性剤、オレイン酸エステル由来の非イオン界面活性剤、又はオレイン酸由来のイオン界面活性剤を含む、請求項 1 に記載の脂肪酸組成物。

【請求項 10】

前記脂肪酸成分が、少なくとも 95 質量%のパルミチン酸を含む、請求項 1 に記載の脂肪酸組成物。

【請求項 11】

前記脂肪酸成分がステアリン酸を含む、請求項 1 に記載の脂肪酸組成物。

【請求項 12】

前記脂肪酸成分がオレイン酸化合物を含み、前記オレイン酸化合物が、遊離オレイン酸、オレイン酸エステル、オレイン酸のモノ -、ジ - 又はトリグリセリド、高オレイン酸油、又はそれらの組み合わせを含み、前記高オレイン酸油が、40 質量%以上のオレイン酸含量を有する、請求項 1 に記載の脂肪酸組成物。

【請求項 13】

前記脂肪酸成分が、約 1 質量% ~ 約 40 質量%のキャノーラ油を含む、請求項 1 に記載の脂肪酸組成物。

【請求項 14】

動物飼料のための脂肪酸組成物を作製するための方法であって、  
脂肪酸成分を界面活性剤成分と混ぜ合わせて、脂肪酸組成物を提供するステップ；  
前記脂肪酸組成物を加熱して液体状にするステップ；及び  
前記脂肪酸組成物を固体ビーズにブリル化するステップ  
を含む、方法。